

みずほCustomer Desk Report 2018/05/21号(As of 2018/05/18)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	110.95 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.85	1.1790	130.71	1.3510	0.7504
SYD-NY High	111.08	1.1822	131.11	1.3528	0.7528
SYD-NY Low	110.61	1.1750	130.25	1.3455	0.7488
NY 5:00 PM	110.75	1.1772	130.39	1.3475	0.7512
NY DOW	24,715.09	1.11	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,354.34	▲ 28.13	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,712.97	▲ 7.16	米国2年債	2.5467	▲ 2.42bp
日経平均	22,930.36	91.99	米国5年債	2.8873	▲ 5.12bp
TOPIX	1,815.25	6.88	米国10年債	3.0587	▲ 5.53bp
シゴ日経先物	22,850	▲ 50.00	独10年債	0.5735	▲ 6.20bp
ロンドンFT	7,778.79	▲ 9.18	英10年債	1.4980	▲ 6.25bp
DAX	13,077.72	▲ 36.89	豪10年債	2.9245	2.70bp
ハンセン指数	31,047.91	105.76	USDJPY 1M Vol	6.70	▲ 0.20%
上海総合	3,193.30	39.02	USDJPY 3M Vol	7.13	▲ 0.13%
NY金	1,291.30	1.90	USDJPY 6M Vol	7.74	▲ 0.11%
WTI	71.28	▲ 0.21	USDJPY 1M 25RR	-0.45	Yen Call Over
CRB指数	203.69	0.13	EURJPY 3M Vol	7.43	▲ 0.22%
ドルインデックス	93.64	0.17	EURJPY 6M Vol	7.93	▲ 0.14%

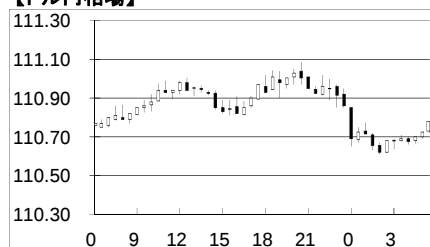
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月18日	08:50	日	CPI/コアCPI/コアCPI(前年比)	4月 0.6%/0.7%/0.4% 0.7%/0.8%/0.4%
	16:00	米	メスター・クリーブランド連銀総裁「米経済、これまでの長期間と同様に堅調」	
	-	米	米中通商協議 共同声明「中国は米国のモノとサービスの購入を大幅に増やす」	

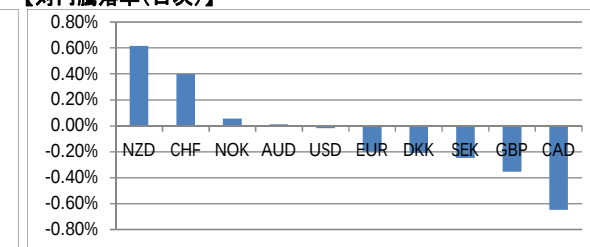
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月21日	08:50	日	貿易収支	4月 ¥440.0b ¥797.0b
	21:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	4月 0.48 0.10
5月22日	01:15	米	ボスティブ・アトランタ連銀総裁講演	- - -
	03:05	米	ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演	- - -
	06:30	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁講演	- - -

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-111.00	1.1700-1.1800	129.50-131.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円は反落。イタリアでの政治リスクが意識されてユーロドルが上値重くする展開に、ユーロ円は130円台前半まで下落。欧州債市場においても英独仏債に買いが入り、米10年債利回りも3.1%台を下回る展開となったことで、ドル円もつれて111円台を割込み、110.61円まで下落。本日のドル円は方向感に欠く展開を予想する。週末に開催された米中貿易協議において貿易戦争を『停止』すると発表されたことで、東京時間早朝のドル円相場は一時111円台を回復する展開となったが、米債利回りが再び上昇軌道に乗らない限りは111円台を維持するのは困難と思われる。イタリアの政治リスクや中東の地政学リスクを依然として抱える中、110円台で方向感に欠く展開を予想したい。

東京	アジア時間早朝、110.75近辺で推移していたドル円は、米中通商会議において中国が米国産品の輸入拡大などを提案したと伝わったことで小幅に上昇し、東京時間110.85レベルでスタート。午前中は米10年債利回りが上昇する中、ドル円も底堅く推移し111.00まで上昇。しかし、午後に入ってから米金利が反落するとドル円は伸び悩み、110.85レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は110.85レベルでオープン。ドル買いの流れが継続する中、111.08まで上昇し110.95レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1811レベルでオープン。イタリアの極右政党「同盟」と大衆迎合主義政党「五つ星運動」が、連立政権樹立の合意書に署名し、同国に反EU政権が発足することから、リスク回避的なユーロ売りが優勢となる展開。独伊10年債スプレッドが約50bpぶりの水準まで拡大すると、欧州債務問題が再度意識され、ユーロドルは1.1773に低下。1.1784レベルでNYに渡った。本日のドルは、1.3524でオープン。前日は、英関税同盟離脱を先延ばしする「バックストップ」オプションの閣内合意が得られ、小幅に戻すも、タンカンスミス元保守党党首が、「バックストップ」は1-2ヶ月程度の短さにすべきと発言、メイ首相自身も「バックストップ」は望ましい形ではないと示唆(英政府報道官)したことから反落。1.3474まで売られ、1.3497レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は110.95レベルでオープン。朝方はドル買いが継続する一方、ユーロ円の売りにドル円は値動きを挟まれ、高値圏での推移が暫く続くが、イタリアの金利が上昇し独債利回りが低下する動きに、米国債利回りも連れて低下したことからドル売りが優勢となり、ドル円は110.61まで反落する。午後は、週末を控えた調整の動きが継続し、110.75レベルでクロスした。一方、イタリア五つ星と同盟の連立協定合意書に、予想通り減税と歳入拡大路線が盛り込まれたことから、海外市場でイタリア国債売りが強まり、ユーロドルは上値を重くし、1.1773まで下落し、1.1784レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ、ユーロ売りが継続し直近の安値1.1763を下抜けし、1.1750まで下落する。その後は週末を控えた調整から一旦1.1789まで戻すものの上値は重く、1.1772レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:伊藤・森谷